

井口、無四球で完封!

勝ち点2となり

2回戦

11年春季リーグ
第2週・4月14日
2勝0敗

1部初勝利を完封で飾った井口



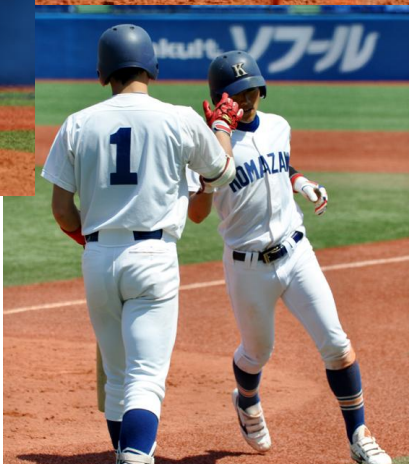
単独首位!

【左】今季初スタメンで適時打を放ち、井口を援護した嘉数駿

前日の乱打戦とは対照的に、2戦目は序盤から投手戦。試合を決めたのは5回、今季初スタメンの嘉数駿(攻4)の一振りだった。先発した井口拓皓(経3)は9回を無四球で投げ抜き完封。青学大から6季ぶりと
なる勝ち点を奪った。

2回【左】と7回【上】、走者を背負った危機を乗り越え吠える井口

【右】嘉数駿の適時打で生還した小林(右)と迎えた岡(左)



駒大 2-0 青学大

写真=橋本圭史、山田遼太郎、野木聡介
文=水出綾香

「あいつ絶対できる男なんですよ。明日は勝たせてあげたい」。1戦目を終え、正捕手・戸柱恭孝(現3)は井口への思いを口にした。

前回の中大2回戦では、5回と2/3を投げ6失点。無念の降板だった。それだけに「勝ちたい。それしかなかった」と井口。戸柱は相手の調子を「中央の時のように悪い」と感じていたが「精一杯(井口が)投げやすいようにした」。その思いに込めるように右腕は変化球でカウントを取ると、最速144キロの気迫のこもった直球を投げ込んだ。

緊迫した投手戦に持ち込むと、好機は5回に訪れた。小林勇登(経3)の放った打球が敵方を誘い、先制。なおも2死三塁とし、4試合ぶりに嘉数駿が公式戦の打席に立った。「来た球は全部打ってやろうと思った」。思



◆ともたき たけひろ/1989年5月31日生まれ。盈進高出身。175センチ75キロ。右投右打。外野手。法学部政治学科4年。

い切り振り抜いた打球は三遊間を破る左前適時打に。2点の援護は、この日の井口に十分だった。黒星が付いた前回との違いは「強気で投げる」こと。それが無四球の好投につながった。おまけに今季初完封。相方の言う「できる男」であることを証明して見せた。

昨春、青学大には2試合連続で完封負けを喫した。屈辱の敗戦から1年。雪辱に燃える選手たちは、今度は2タテで勝負を決め、聖地で借りを返した。

駒大	000	020	000	2
青学大	000	000	000	0

[駒大]	打安点
④小林	400
⑧嘉数駿	411
⑥岡	300
⑤白崎浩	310
DH柴田	210
⑨友滝	300
⑦江越	300
PH山下	100
7中谷	000
②戸柱	410
③増本	100
計2841	

▽二塁打=戸柱

	回	打安責
○井口	9	3240